

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2020年10～12月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は342社から回答があった。景況判断DI(2ページ参照)は▲27となり、前期調査(▲38)から11ポイント改善した。一方、来期の見通しは▲41となり、14ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点(12ページ参照)を見ると、2008年の調査開始以来、初めて「修理、修繕費等の増加」が1位となった。

以下、その他業況感DIの内訳

2020年7-9月期に対して、

- ・売上高DIは11で、20ポイント改善
- ・処理量DIは7で、19ポイント改善
- ・営業利益DIは▲7で、7ポイント改善
- ・資金繰りDIは▲1で、1ポイント悪化
- ・借入難易度DIは9で、3ポイント悪化
- ・設備投資DIは▲1で、7ポイント改善
- ・従業員数DIは▲4で、1ポイント改善
- ・契約単価DIは、収集運搬が1で、前期と変わらず
処分が6で、1ポイント改善

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で0.3%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で3.0%減となった。
- 経常利益率については、平均値が6.2%となった。

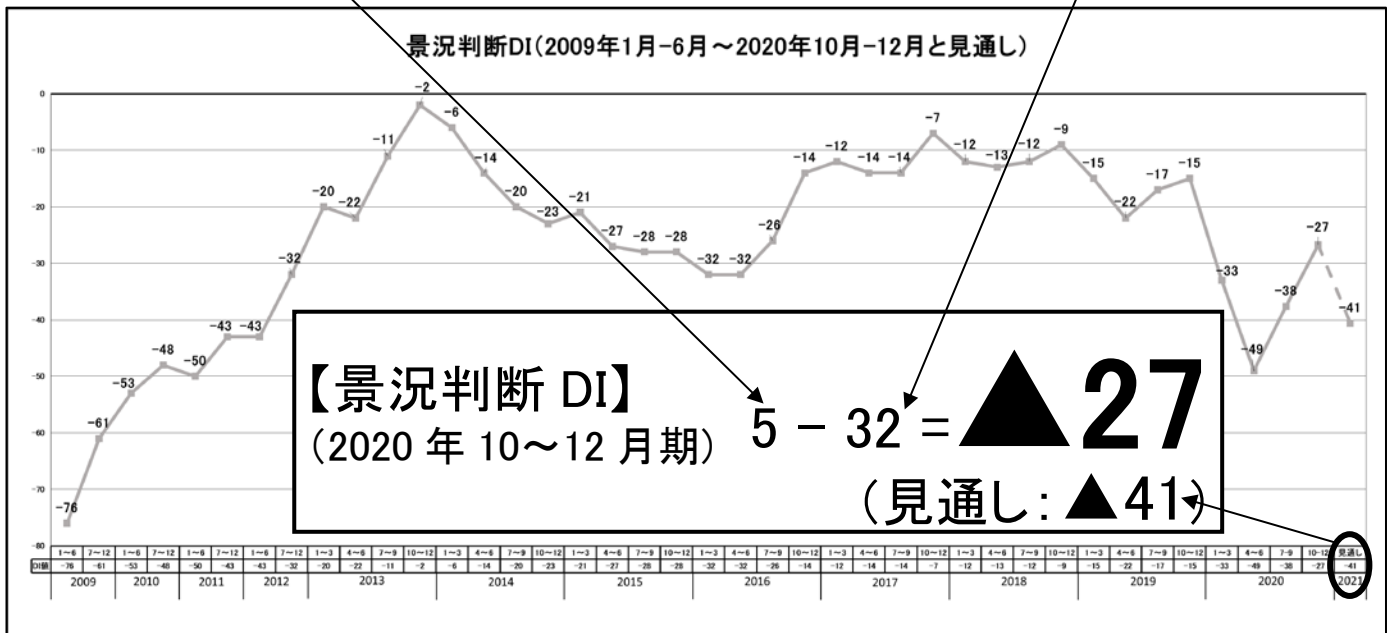
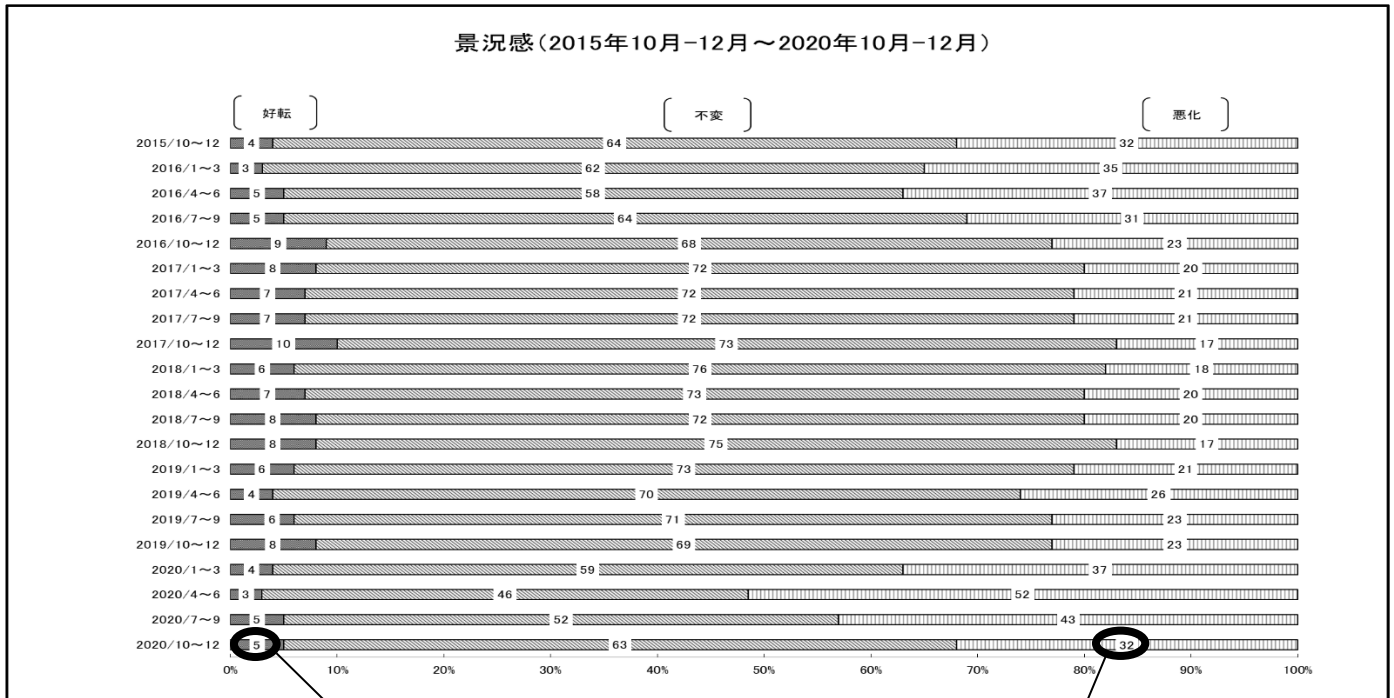
※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

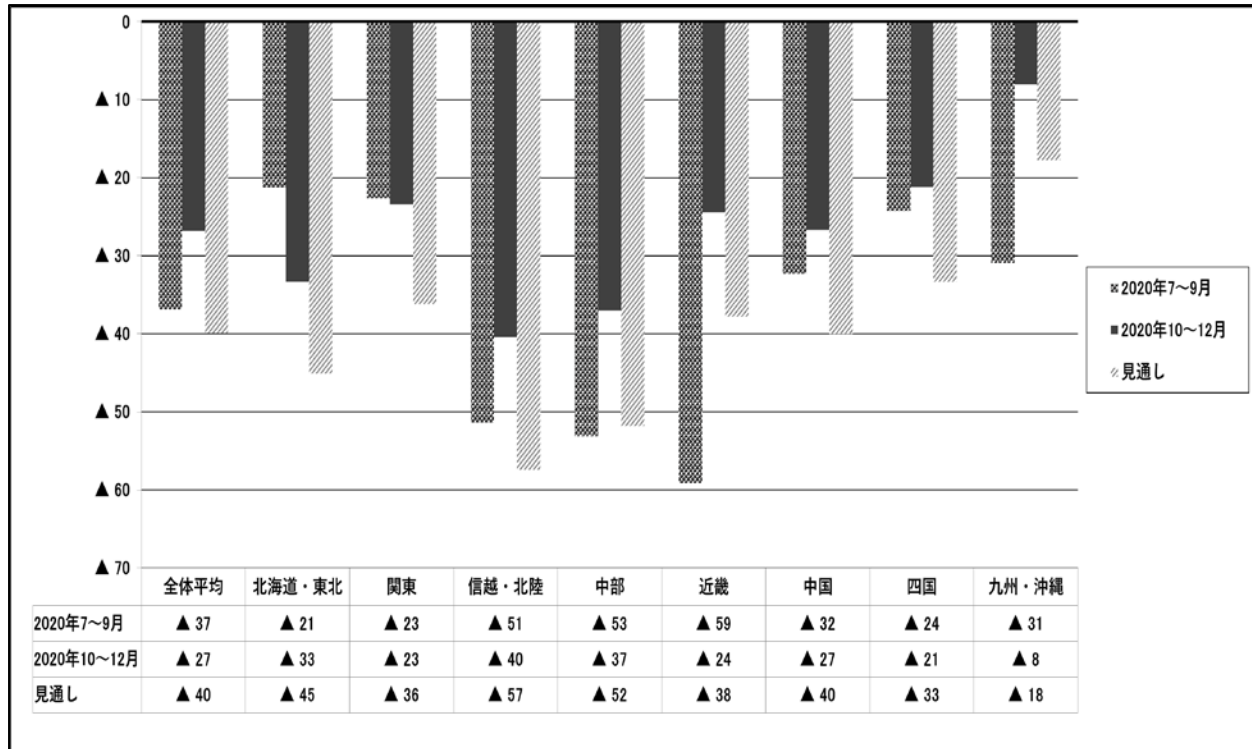
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲27 となり、11 ポイント改善した。
見通しは▲41 となり、14 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「北海道・東北」のみ悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI の見通しをみると、全ての地域が悪化する見込みとなっている。
(3 ページ参照)



地域別景況判断 DI

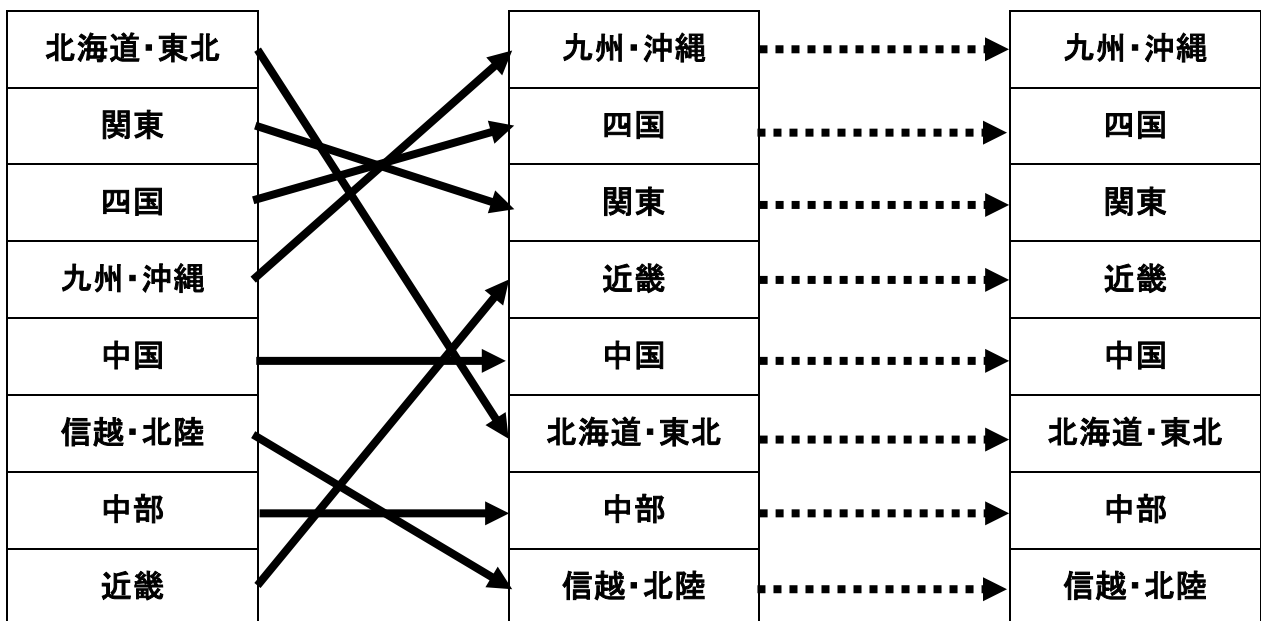


(ランキング推移)

2020年7-9月期
(前期)

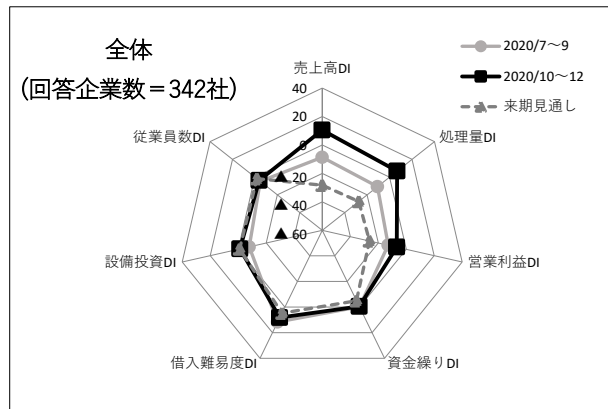
2020年10-12月期
(今期)

2021年1-3月期
(見通し)



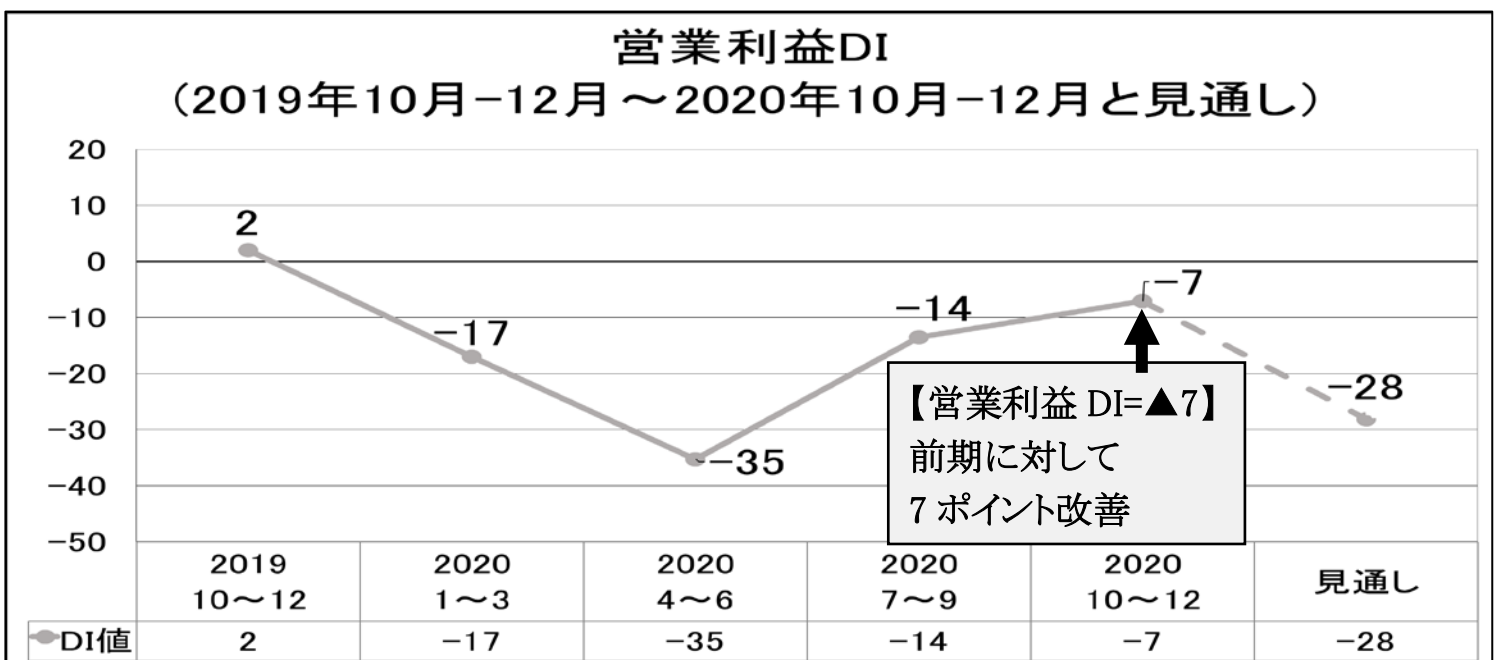
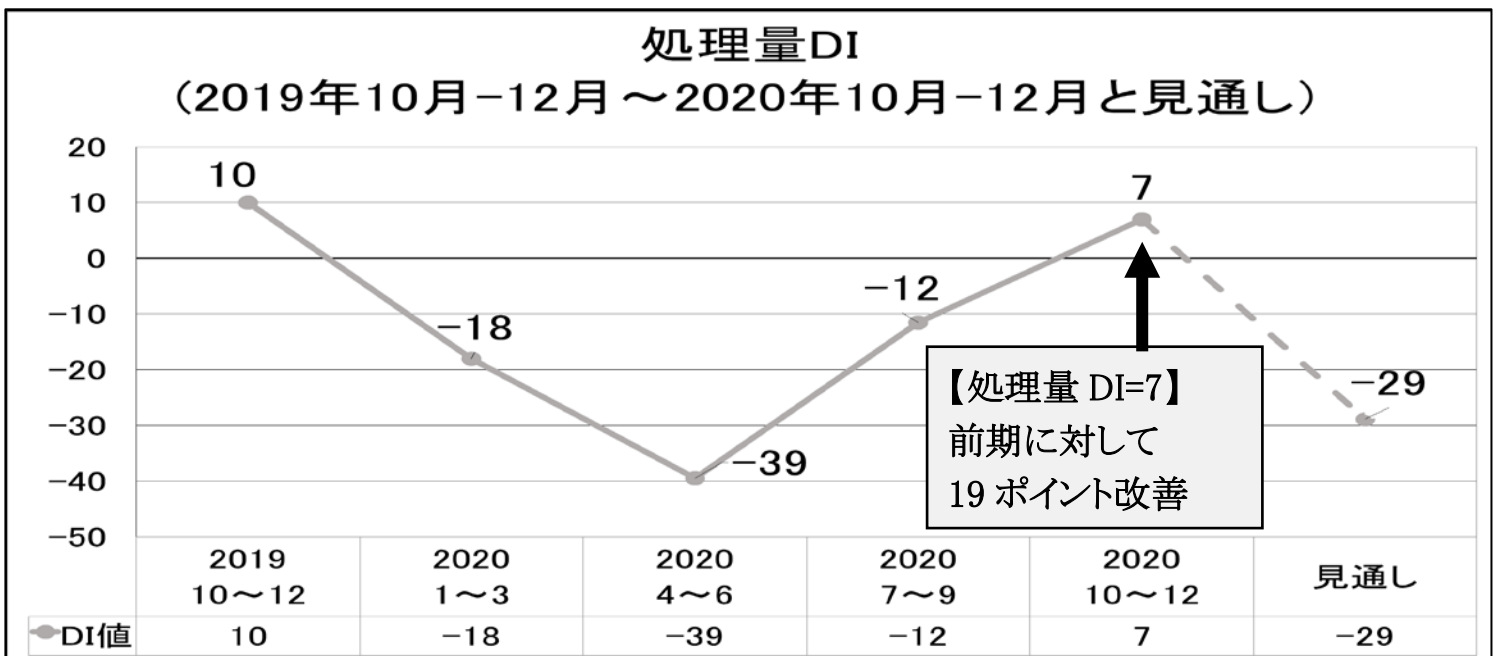
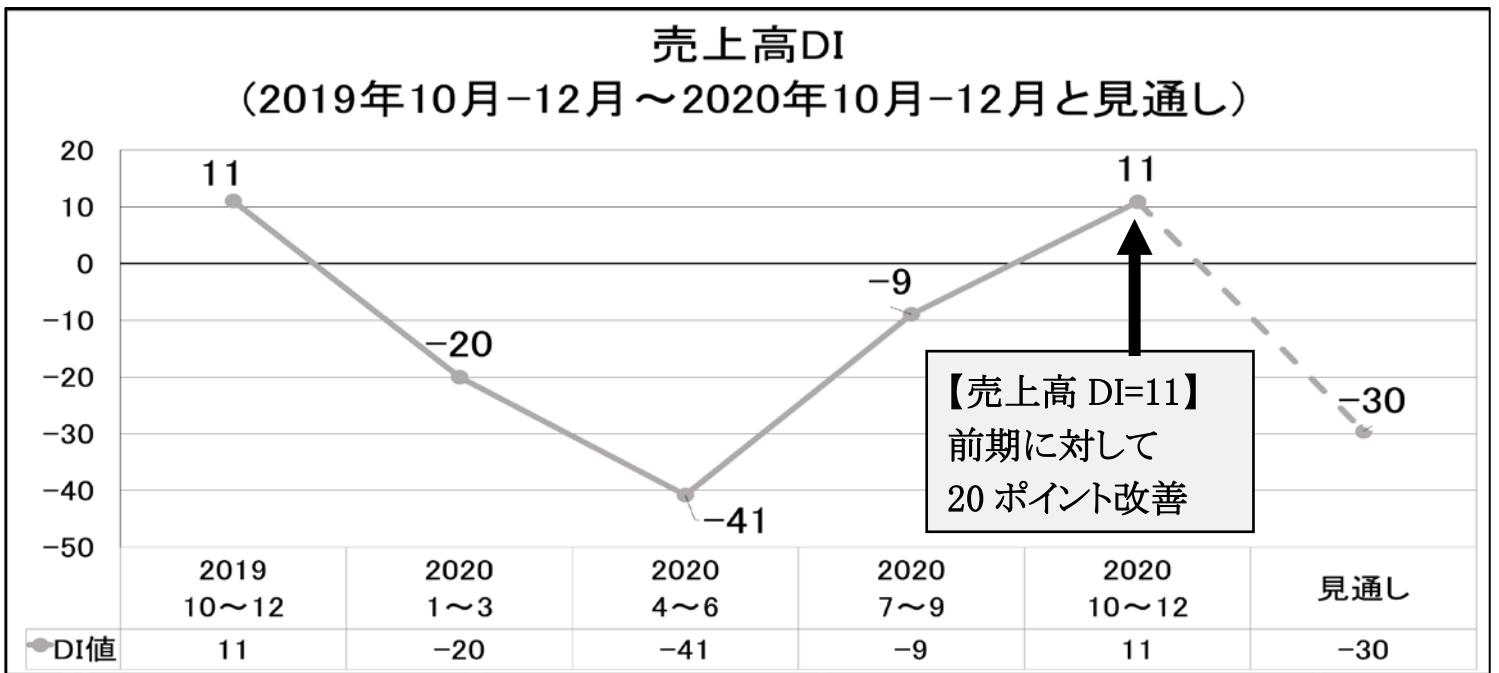
(2) 売上高 DI、処理量 DI、営業利益 DI、資金繰り DI、借入難易度 DI、設備投資 DI、従業員数 DI

- 前期と比べて資金繰り DI と借入難易度 DI が悪化した。
- 見通しは従業員数 DI のみ改善する見込みとなっている。



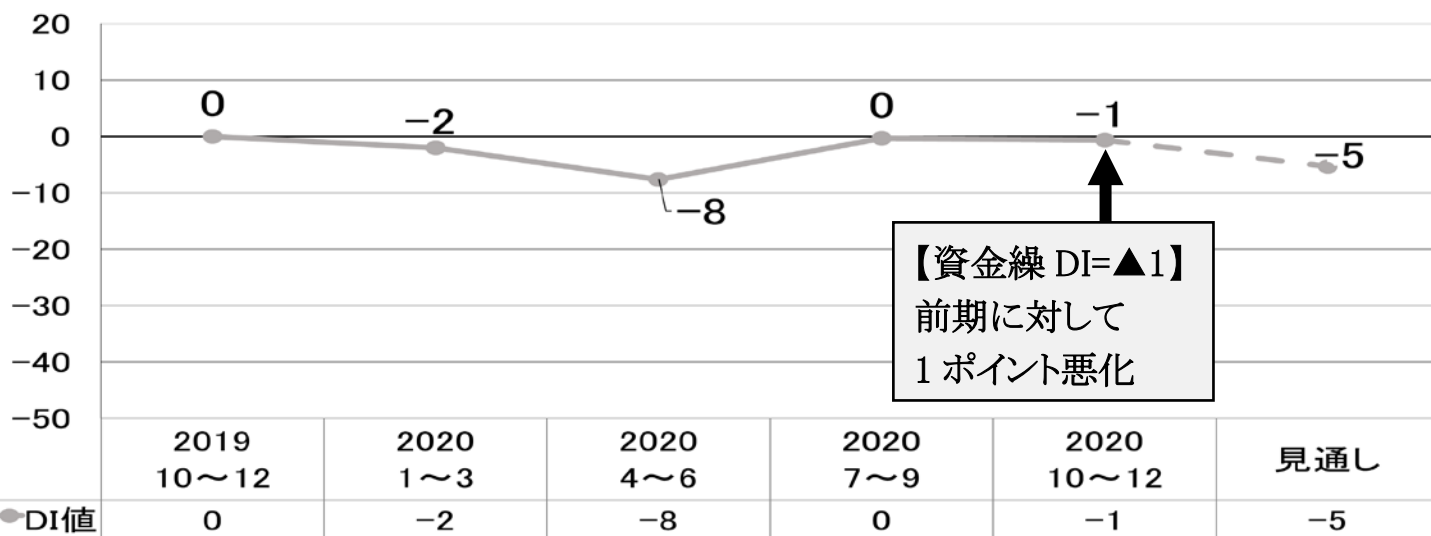
以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は 11 となり、前期と比べて 20 ポイント改善した。
見通しは▲30 となり、41 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は 7 となり、前期と比べて 19 ポイント改善した。
見通しは▲29 となり、36 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は▲7 となり、前期と比べて 7 ポイント改善した。
見通しは▲28 となり、21 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは▲5 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は 9 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。
見通しは 5 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は▲1 となり、前期と比べて 7 ポイント改善した。
見通しは▲1 となり、変わらない見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は▲4 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは▲2 となり、2 ポイント改善する見込みとなっている。



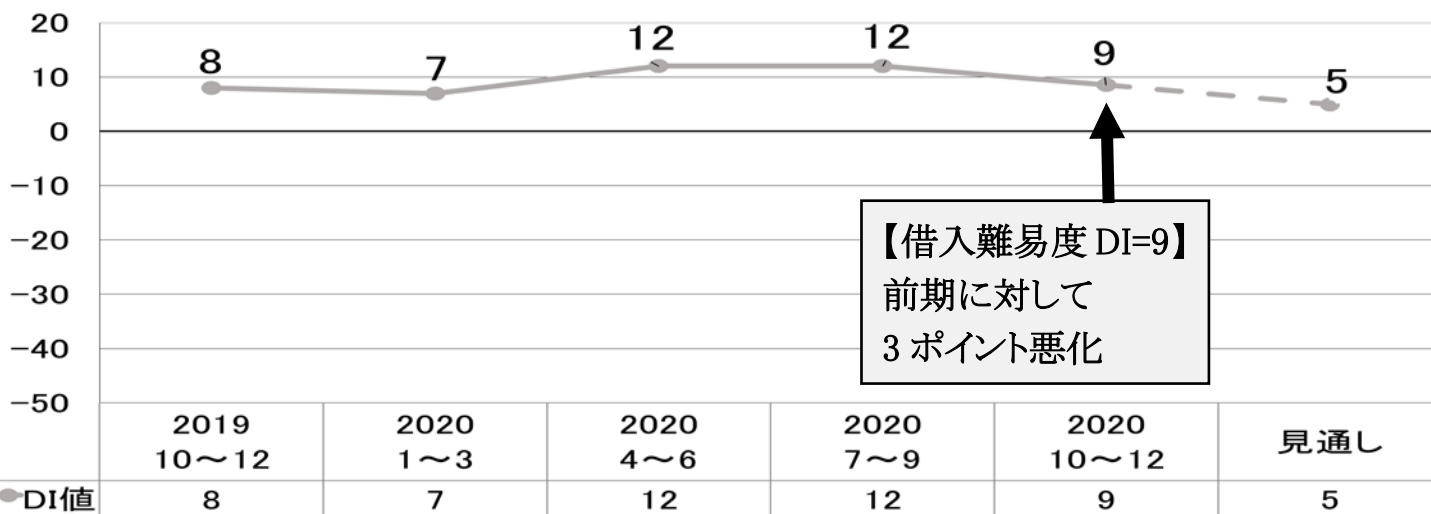
資金繰りDI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



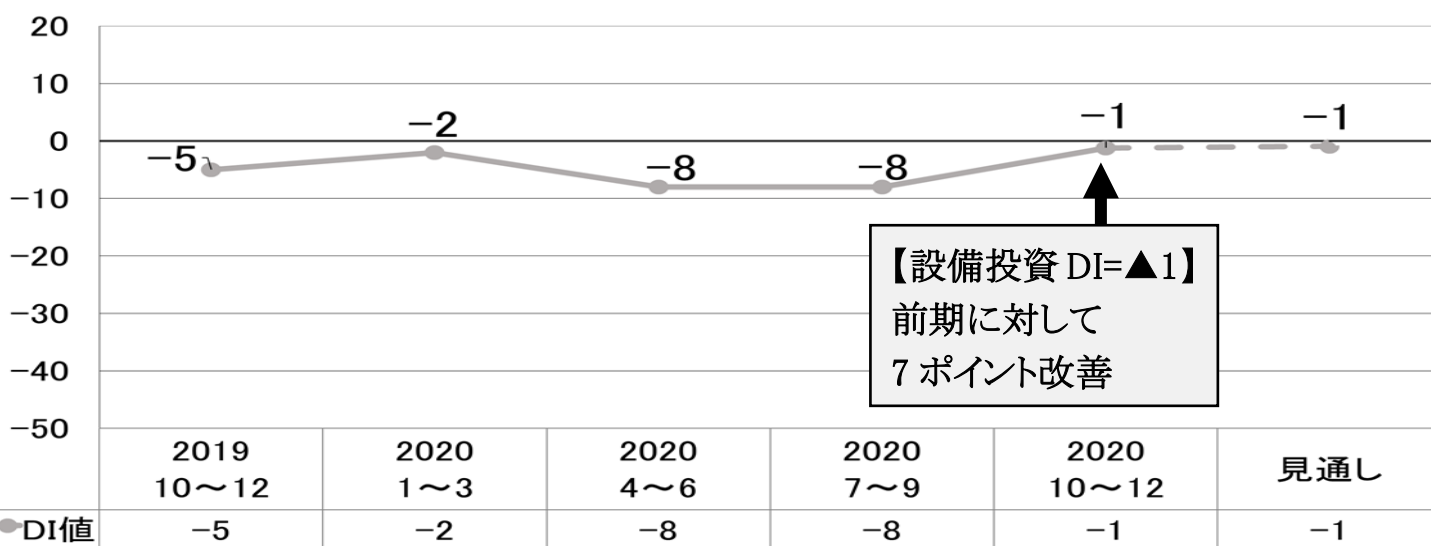
借入難易度DI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)



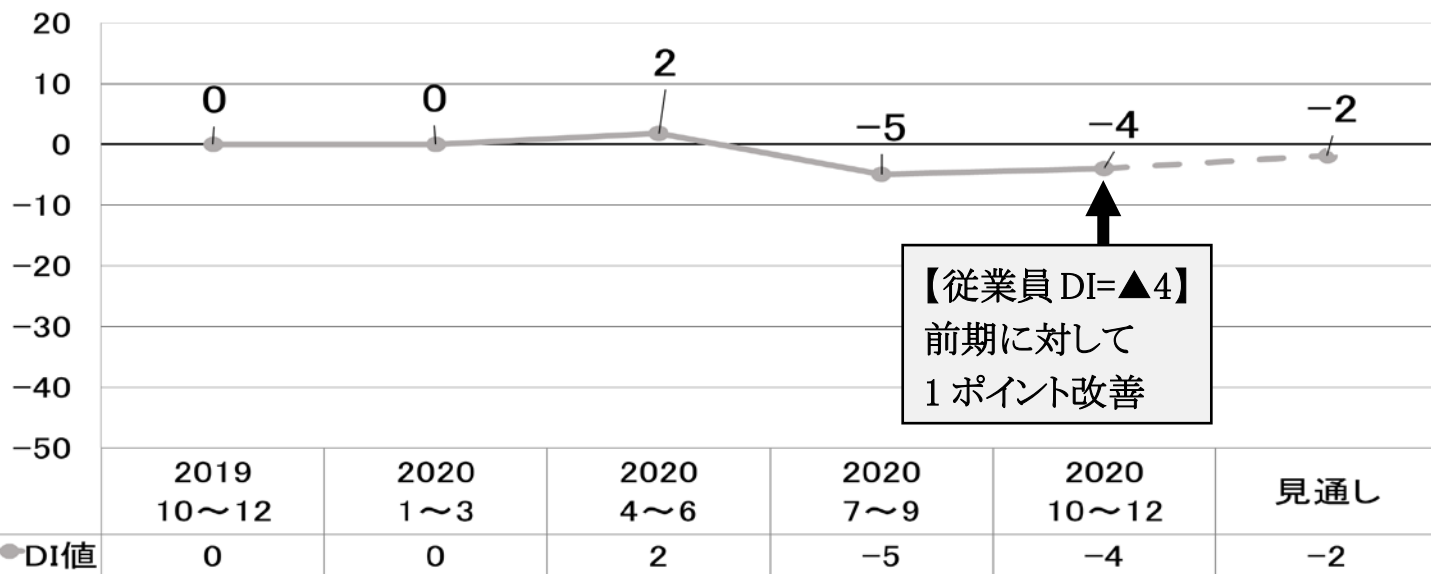
設備投資DI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)

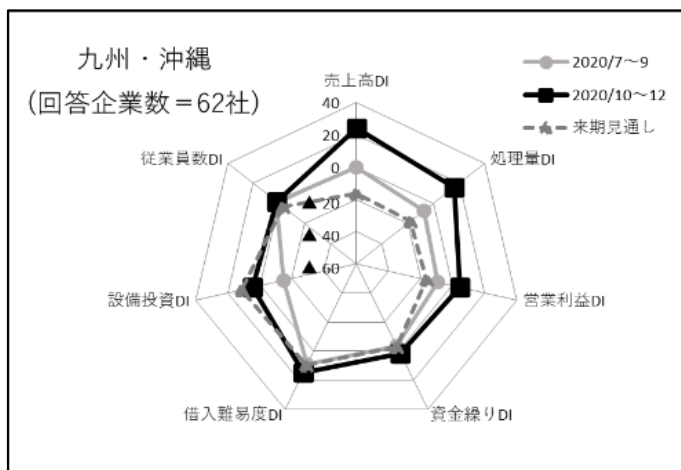
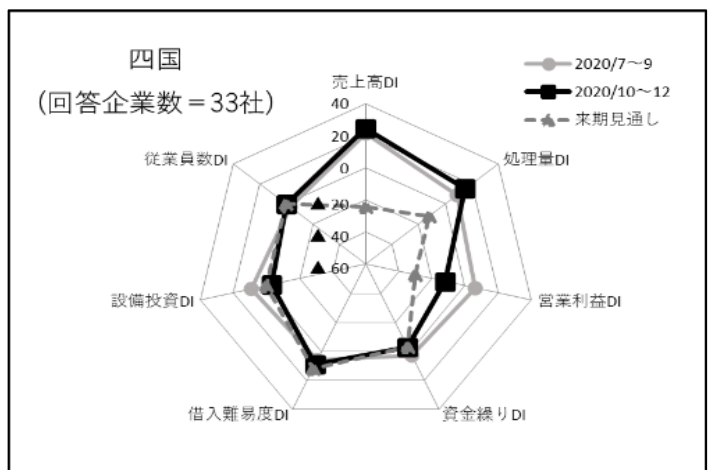
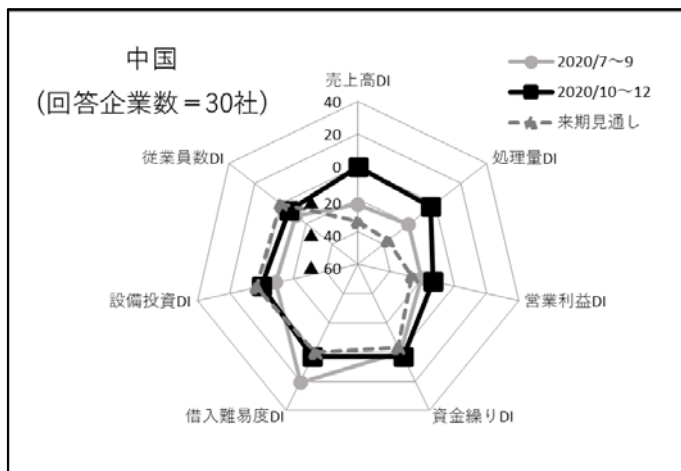
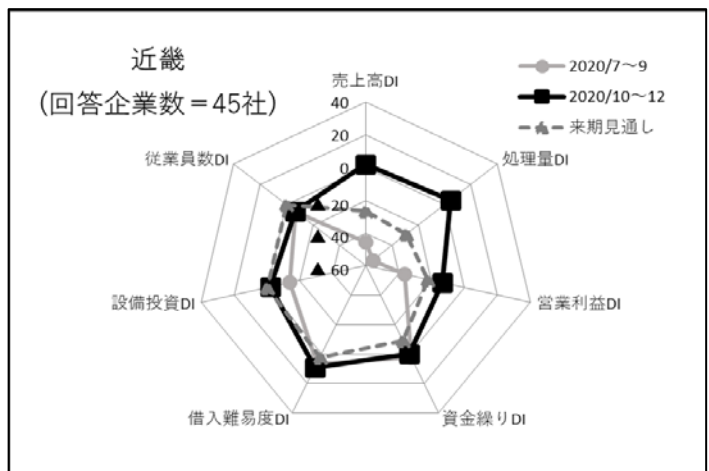
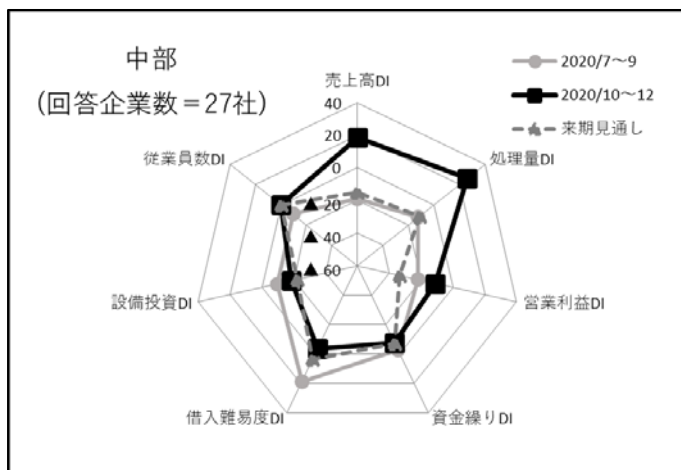
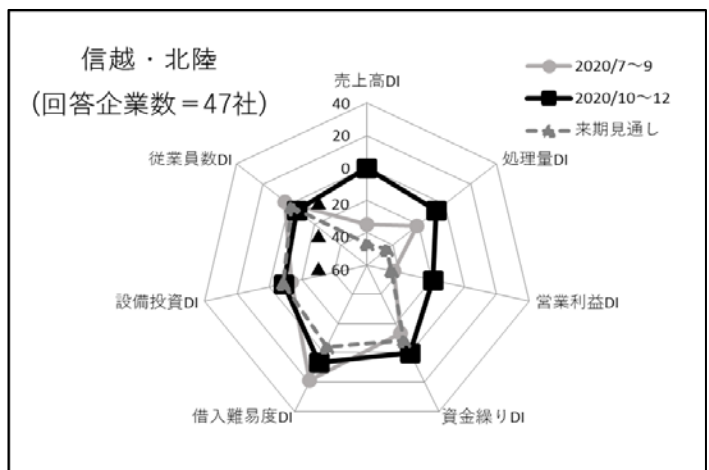
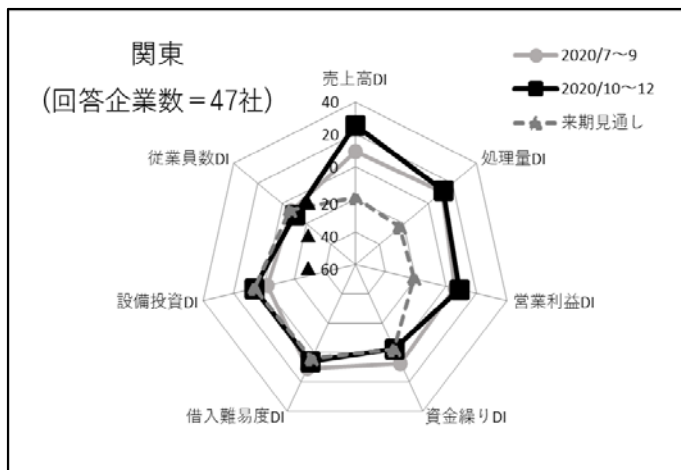
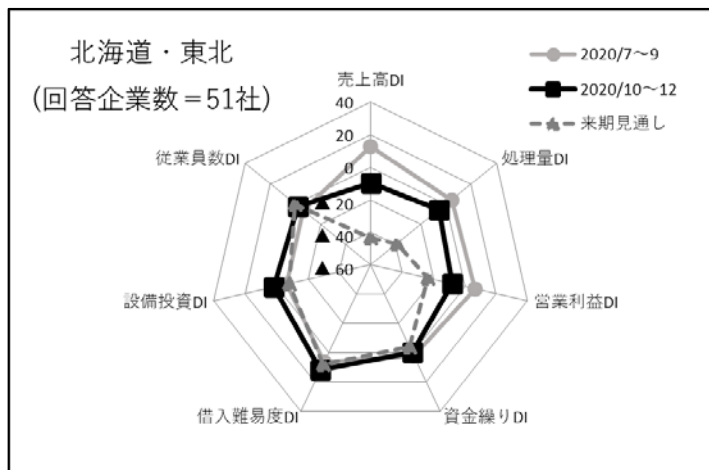


従業員数DI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)

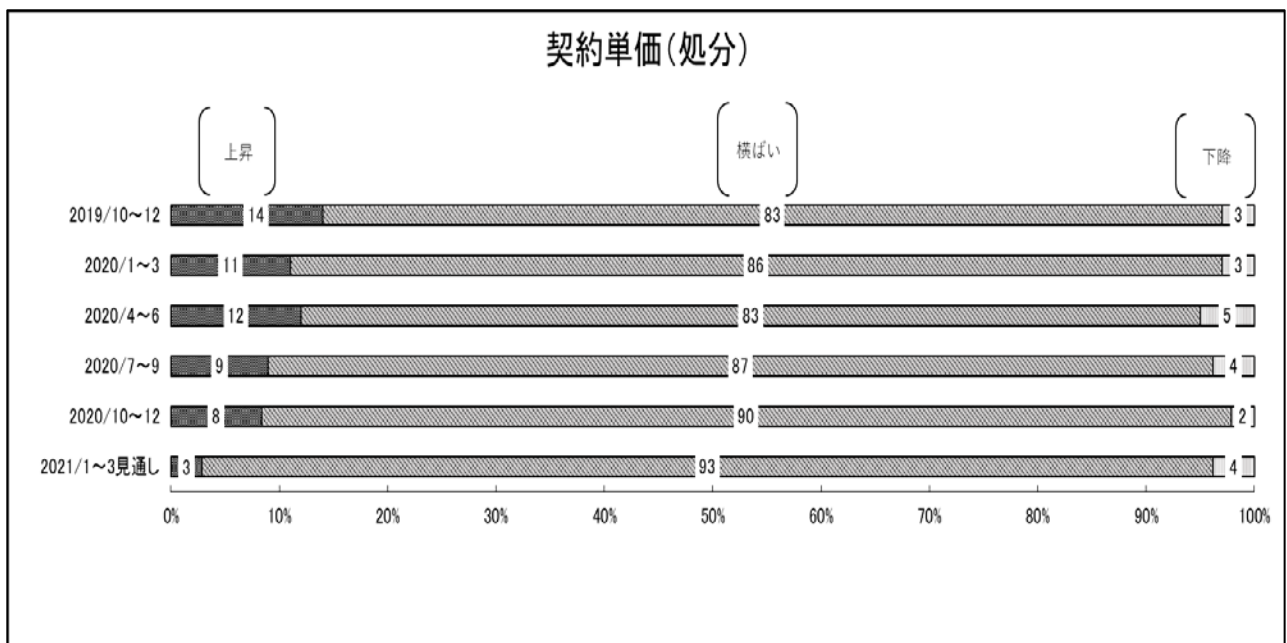
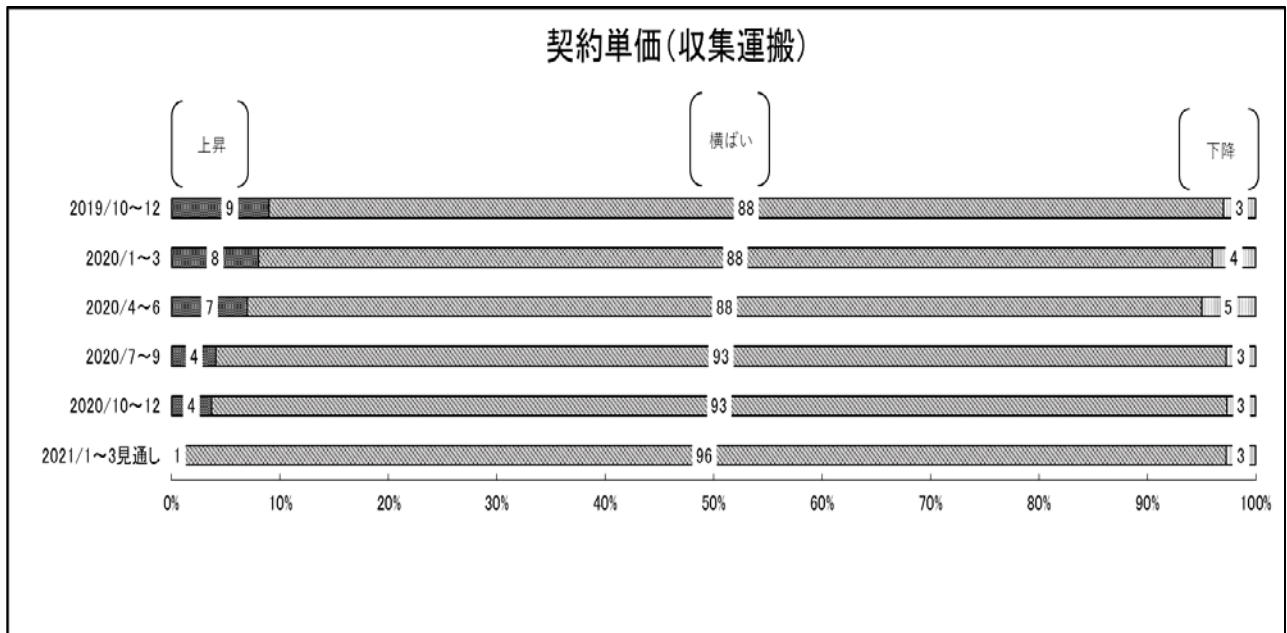


【その他業況感 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 1 となり、前期と変わらなかった。
見通しは▲2 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 6 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは▲1 となり、7 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、0.3%減となった。

有効回答数:153社

単位:千円

| | | | | |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 前年売上高 | 2019年10月 | 2019年11月 | 2019年12月 | 平均 |
| | 7,241,983 | 7,492,243 | 7,901,572 | 7,545,266 |
| 今年売上高 | 2020年10月 | 2020年11月 | 2020年12月 | 平均 |
| | 7,471,423 | 7,251,593 | 7,842,618 | 7,521,878 |
| 前年比 | 3.2% | ▲3.2% | ▲0.7% | ▲0.3% |

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、3.0%減となった。

有効回答数:161社

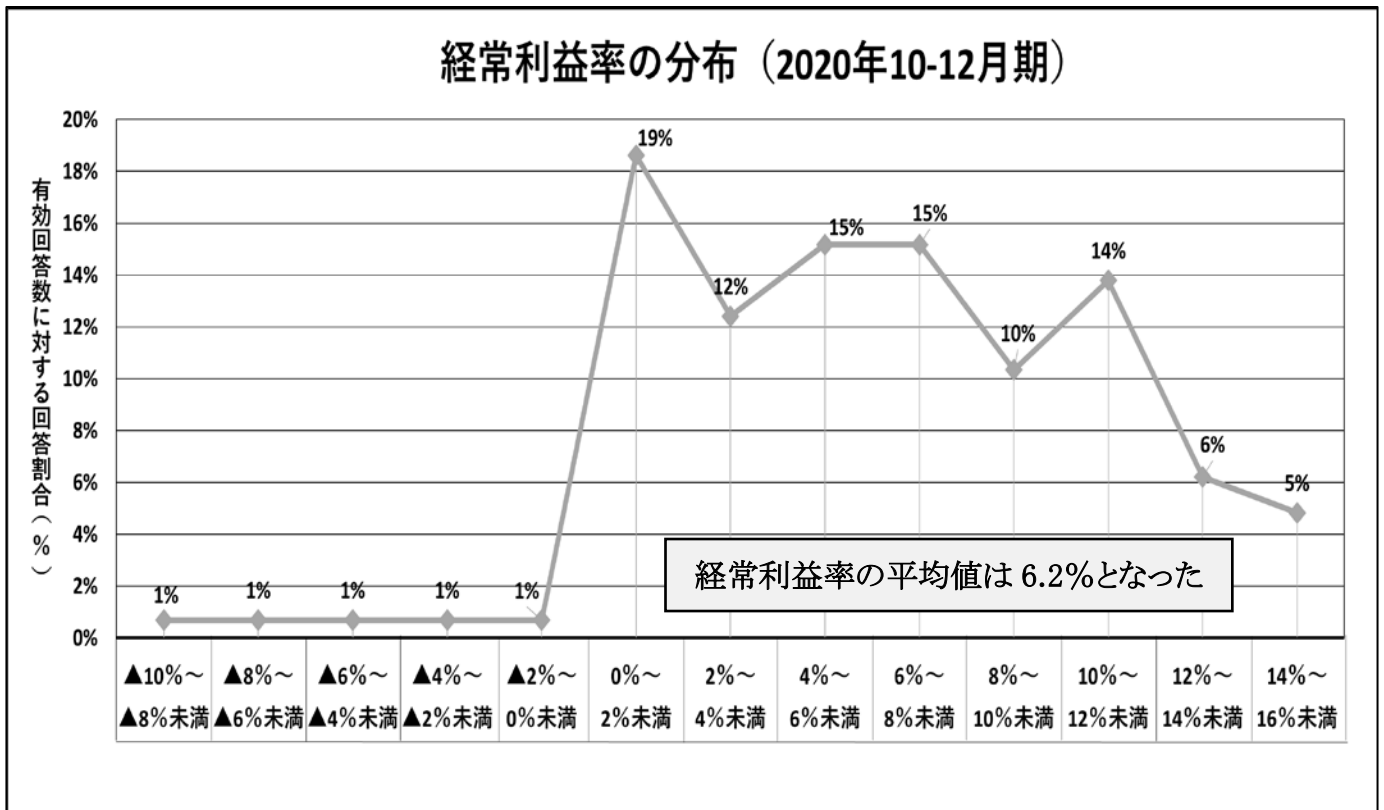
単位:トン

| | | | | |
|-------|----------|----------|----------|---------|
| 前年処理量 | 2019年10月 | 2019年11月 | 2019年12月 | 平均 |
| | 430,169 | 457,167 | 452,918 | 446,751 |
| 今年処理量 | 2020年10月 | 2020年11月 | 2020年12月 | 平均 |
| | 442,541 | 429,889 | 427,785 | 433,405 |
| 前年比 | 2.9% | ▲6.0% | ▲5.5% | ▲3.0% |

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

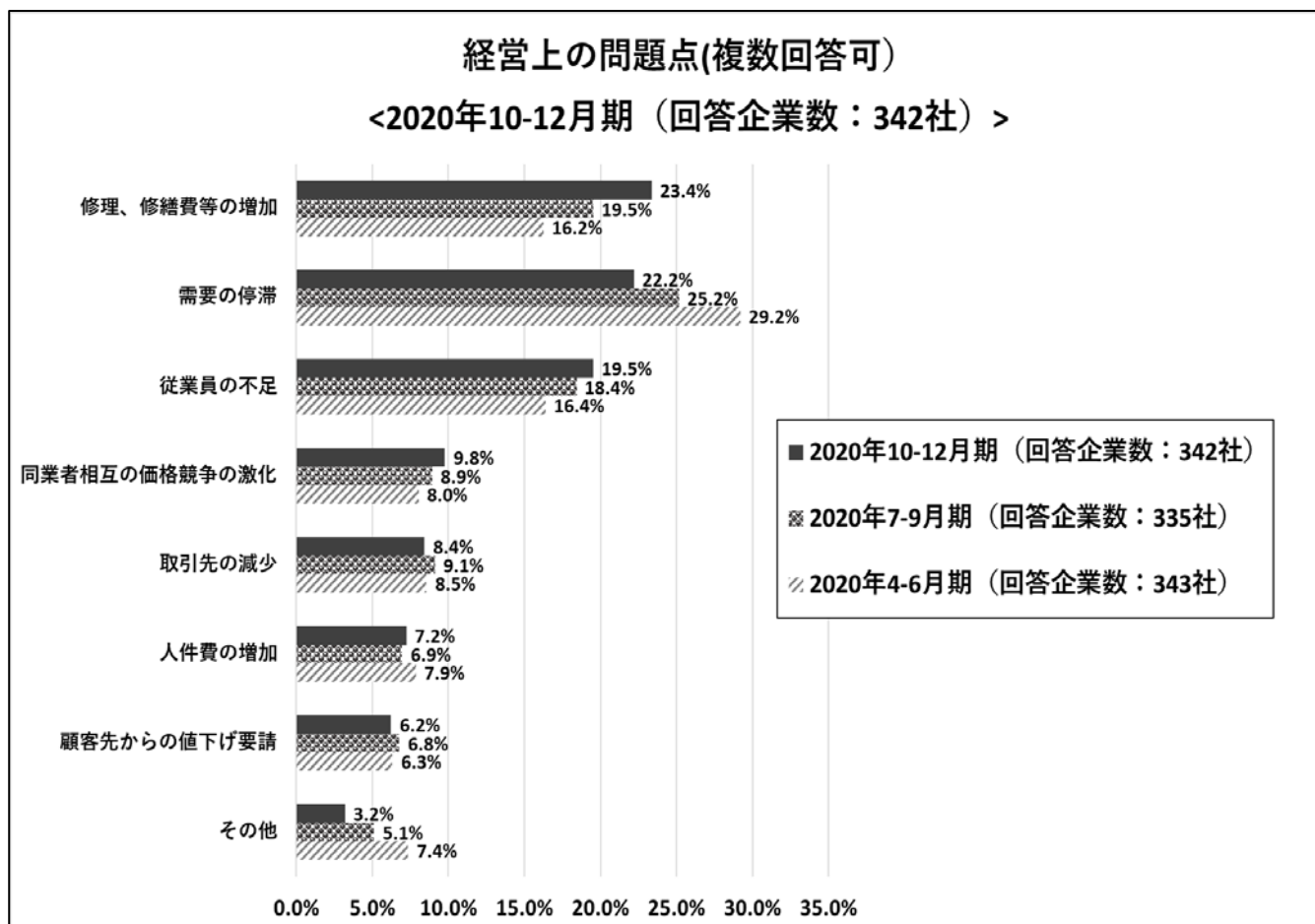
- 経常利益率の平均値は 6.2%となった。
- 最も回答が多かったのは、回答数 27 社(全体の 19%)の「0%~2%未満」となった。

有効回答数:145 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点としては、1位「修理、修繕費等の増加」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の不足」となった。
- 前期調査2位であった「修理、修繕費等の増加」23.4%(前期 19.5%)が、2008年の調査開始以来、初めての1位となった。
- 「その他」の記述回答は、「新型コロナウイルス感染症の影響」が42.1%を占めている。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響(その他記述回答の42.1%)
 (感染症拡大による影響、従業員の感染リスク、需要の減少や修繕費がかかるため廃業など)
- ・処分費用の値上げ
- ・最終処分場の不足

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、2008年10-12月期の本調査において回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

「景況動向調査(2008年10-12月期)」で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2021年1月8日～1月29日

(3) 調査方法

郵送によるアンケート

(4) 回答数・回答率

調査依頼企業数 1,025社

回答企業数 342社

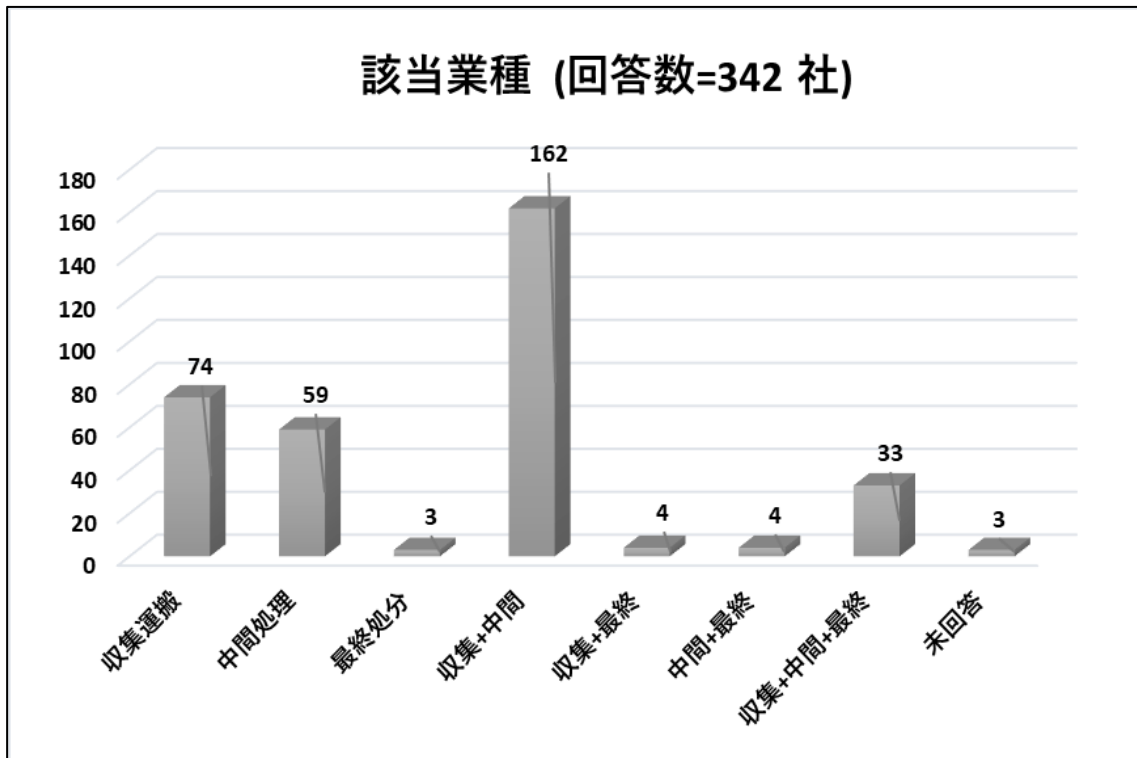
回答率 33.3%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

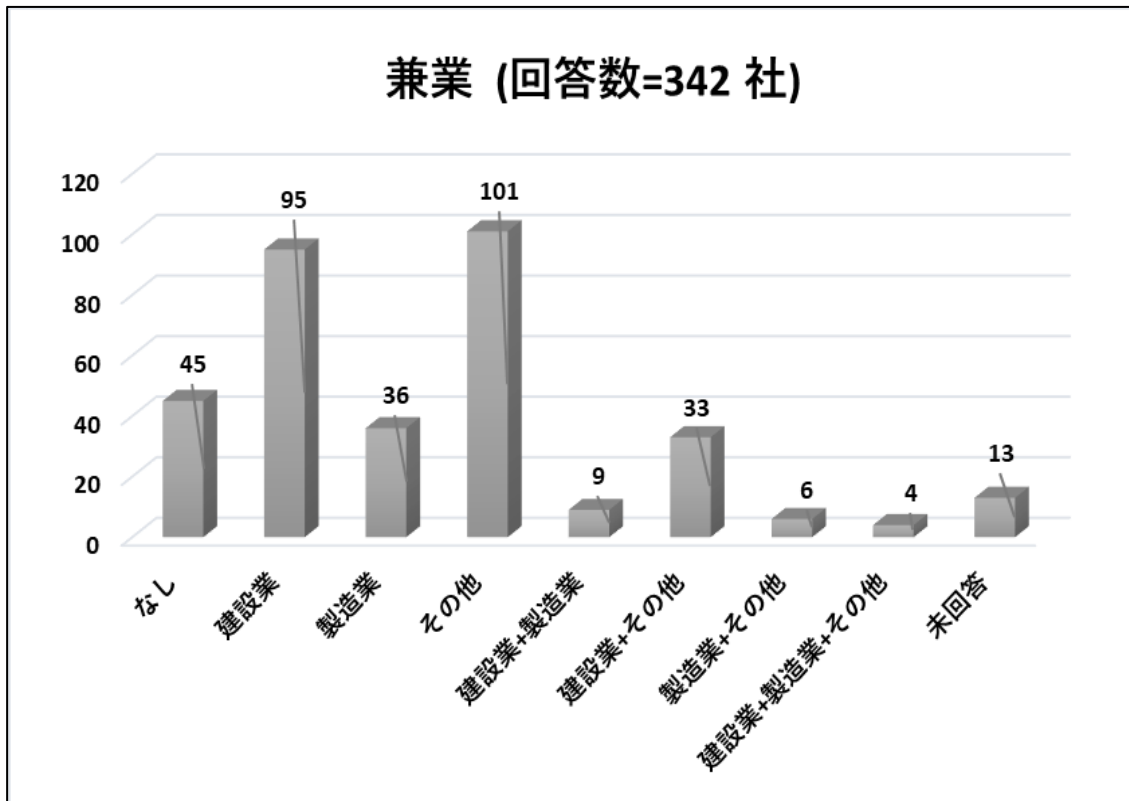
| 地域 | 企業数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| 北海道・東北 | 51 | 14.9% |
| 関東 | 47 | 13.7% |
| 信越・北陸 | 47 | 13.7% |
| 中部 | 27 | 7.9% |
| 近畿 | 45 | 13.2% |
| 中国 | 30 | 8.8% |
| 四国 | 33 | 9.6% |
| 九州・沖縄 | 62 | 18.1% |
| 合計 | 342 | 100.0% |

② 業種別構成



| 該当業種 | 企業数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| 収集運搬 | 74 | 21.6% |
| 中間処理 | 59 | 17.3% |
| 最終処分 | 3 | 0.9% |
| 収集+中間 | 162 | 47.4% |
| 収集+最終 | 4 | 1.2% |
| 中間+最終 | 4 | 1.2% |
| 収集+中間+最終 | 33 | 9.6% |
| 未回答 | 3 | 0.9% |
| 合計 | 342 | 100.0% |

③ 兼業別構成



| 兼業 | 企業数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| なし | 45 | 13.2% |
| 建設業 | 95 | 27.8% |
| 製造業 | 36 | 10.5% |
| その他 | 101 | 29.5% |
| 建設業+製造業 | 9 | 2.6% |
| 建設業+その他 | 33 | 9.6% |
| 製造業+その他 | 6 | 1.8% |
| 建設業+製造業+その他 | 4 | 1.2% |
| 未回答 | 13 | 3.8% |
| 合計 | 342 | 100.0% |